

地方独立行政法人東京都立病院機構 第1期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績評価案の概要

全体評価

全体として中期計画を概ね順調に実施しており、「着実な業務の達成状況にある」

項目別評価

機構の業務実績等報告書の検証等を踏まえ、事業の進捗状況及び成果を評価項目ごとに5段階で評価

	評価項目	R4	R5	R6	R7案	見込
行政的医療	がん医療	A	A	A	A	A
	精神疾患医療	A	B	A	A	A
	救急医療	A	A	A	A	A
	災害医療	B	S	B	A	A
	島しょ医療	A	B	B	A	A
	周産期医療	A	A	S	S	S
	小児医療	S	A	A	S	S
	感染症医療	S	A	B	B	A
	難病医療	A	A	B	B	B
	障害者医療	A	B	B	B	B
	総合診療の提供	B	A	A	A	A
	その他の行政的医療、高度・専門的医療等の提供	B	A	B	A	A
行政的医療以外	災害や公衆衛生上の緊急事態への優先した対応	S	S	B	B	S
	地域包括ケアシステム構築に向けた取組	B	B	A	A	A
	健康増進及び疾病予防に向けた普及啓発	B	B	B	B	B
	患者中心の医療の推進	B	B	B	A	B
	質の高い医療の提供	A	B	B	B	B
	診療データの活用及び臨床研究・治験の推進	B	B	B	B	B
	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	A	A	A	S	A
	財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	A	C	C	B	C
	その他業務運営に関する重要事項	B	B	B	B	B

< 評語 >

全体評価

- ・ 特筆すべき業務の達成状況にある
- ・ 優れた業務の達成状況にある
- ・ 着実な業務の達成状況にある
- ・ やや不十分な業務の達成状況にある
- ・ 不十分な業務の達成状況にある

項目別評価

S … 中期目標の達成状況が極めて良好である
 A … 中期目標の達成状況が良好である
 B … 中期目標の達成状況が概ね良好である
 C … 中期目標の達成状況がやや不十分である
 D … 中期目標の達成状況が不十分であり、法人の組織、業務等に見直しが必要である

< 項目別評価計 >

都評価	R4	R5	R6	R7案	見込
全体評価	優れた	着実	着実	優れた	着実
S	2	2	1	3	3
A	11	9	7	9	10
B	8	9	12	9	7
C	0	1	1	0	1
D	0	0	0	0	0

周産期医療（S）

- 総合周産期母子医療センターを中心に、ハイリスク妊産婦や超低出生体重児を積極的に受入れ
- 未受診妊婦、精神疾患を合併した妊産婦等への対応
- 生殖補助医療開始に向けた準備、産後相談支援体制の充実等、患者ニーズに柔軟に対応

【生殖医療外来（大塚病院）】



小児医療（S）

- 小児救急は高い応需率を維持
(R5:97.9% R6:97.0% R7:96.9%)
- 希少疾患や難治性疾患等に対しても、専門性の高い小児医療を提供
- 地域で不足する小児医療の維持・充実に貢献

【小児総合医療センター】



緊急事態への対応（S）

- 新型コロナ対応では、法人の総力を挙げて、都の要請に柔軟に対応
 - ・ 重症、中等症の患者、高齢者等の重症化リスクのある患者を受入れ
 - ・ 5 類移行後も、発熱外来や後遺症相談窓口等を実施
- 能登半島地震対応として、DMATをはじめ、医師・看護師など111名を派遣

【DMAT】



財務内容（C）

- 医業収支は改善傾向だが、第1期中期目標期間では、経常収支比率などの指標が目標を下回る見込み
- 更なる収入確保・支出抑制により、収支改善を図ることが必要

指標	目標	実績見込	目標比
経常収支比率（中期目標期間）	100.0%	95.2%	▲4.8pt
医業収支比率（中期目標期間）	80.7%	73.8%	▲6.9pt
病床利用率（中期目標期間）	80.3%	67.0%	▲13.3pt
平均在院日数（令和8年度）	12.3日	11.2日	1.1日

総評としての意見

「着実な業務の達成状況にある」と認められる。

評価の決定にあたっての留意点

- 一般医療機関では提供が困難な医療をはじめとして、行政的医療を安定的かつ継続的に提供している。引き続き行政的医療を着実に提供し、セーフティネットとしての役割を果たしていくことを期待する。
- 地域の医療機関との連携を進め、地域医療の充実に貢献している。今後も地域医療人材の確保・育成等、地域の医療水準の維持・向上への更なる取組を期待する。
- 新型コロナや能登半島地震における対応等、災害・感染症有事において、都の要請に柔軟に対応したことは評価できるものであり、これまでの経験を生かし、今後も公的病院としての役割を果たしていく必要がある。
- 独立行政法人制度のメリットを生かした業務運営が着実に進展している。今後も、機動的な運営やスケールメリットを生かした取組により、更なる業務の改善・効率化が進むことを期待する。
- 今後は、医療分野においても、AIの活用などによる医療の質の向上や業務効率化が期待される中で、デジタル基盤の強化や医療AIの推進が求められる。

第2期中期目標期間に期待する取組

- 地域医療構想や地域の状況を踏まえ、病院ごとに求められる機能や医療需要の変化に応じて、各病院における医療提供体制を最適化することを検討されたい。
- 更なる収入確保・支出抑制により収支改善を図ることで、持続可能な運営基盤を確立し、将来にわたりその役割を着実に果たし続けることを期待する。